国のがん対策推進基本計画と次期奈良県計画（案）、現行計画の構成比較

国新計画

はじめに

第1　基本方針
・がん患者を含めた国民の視点に立ったがん対策の実施
・重点的に取り組むべき課題を定めた総合的かつ計画的ながん対策の実施
・目標とその達成時期の考え方

第2　重点的に取り組むべき課題
1. 放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれらを専門的に行う医療従事者の育成
2. がんと診断された時からの緩和ケアの推進
3. がん登録の推進
新 **4. 働く世代や小児へのがん対策の充実**

第3　全体目標
1. がんによる死亡者の減少（75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少）
2. 全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上
新 **3. がんになっても安心して暮らせる社会の構築**

第4　分野別施策と個別目標
1　がん医療
（1）放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とチーム医療の推進
（2）がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成
（3）がんと診断された時からの緩和ケアの推進
（4）地域の医療・介護サービス提供体制の構築
新 **（5）医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組**
（6）その他（希少がん、病理診断、リハビリテーション**）**
2　がんに関する相談支援と情報提供
3　がん登録
4　がんの予防
5　がんの早期発見
6　がん研究
新 **7　小児がん**
新 **8　がんの教育・普及啓発**
新 **9　がん患者の就労を含めた社会的な問題**

第5　がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

次期県計画（案）

第1　奈良県がん対策推進計画について
1　計画策定の趣旨
2　計画の位置づけ
3　計画期間

第2　奈良県の「がん」を取り巻く現状
新 1　人口の推移
2　がんによる死亡者数の動向
3　がん医療提供体制の状況
4　がん検診の状況
新 5　がんの医療費の状況

第3　計画の基本的な考え方
1　基本方針
（1）すべてのがん患者とその家族を含めた県民の視点に立ったがん対策の推進
新 （2）重点的に取り組むべき課題を定めた総合的かつ計画的ながん対策の実施
（3）目標とその達成時期の考え方
新 2　重点的に取り組むべき課題
新 （1）放射線療法、化学療法等のがん医療提供体制の充実と緩和ケア、地域連携の推進
新 （2）がん検診の推進
3　全体目標
新 基本理念 「がんにならない、がんになっても安心できる奈良県を目指す」
（1）がんにならない、がんで若い人がなくならない
（がんによる75歳未満の死亡者数を1，500人にする）
（2）すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる
新 （3）がんと向き合い、希望を持って暮らせる地域社会をつくる

第4　分野別施策と個別目標
1　がん医療
（1）がん医療の提供
医療機関の整備、放射線療法・化学療法等の推進、医療従事者の育成
新 口腔衛生管理の充実と推進、小児がん患者とその家族への支援
（2）緩和ケア
（3）地域連携
2　がん患者等への支援
（1）相談支援及び情報提供
新 （2）がん患者の就労を含めた社会的な問題
3　がん登録
4　がん予防
（喫煙、食生活等の生活習慣、持続感染予防）
5　がんの早期発見
新 6　がんの教育・普及啓発

第5　計画の推進

県現行計画

1. 計画策定の趣旨
（1）策定の経緯
（2）基本方針
・すべてのがん患者やその家族を含めた県民の視点に立ったがん対策の推進
・質の高いがん医療提供体制の確保
（3）計画の位置づけ
（4）計画期間

2. 奈良県の「がん」の現状
（1）がん患者
（2）医療機能　（①がん診療連携拠点病院、②がん診療を行う医療機関）
（3）がん検診の状況

3. 全体目標
（1）がん死亡者の減少
（2）がん患者・家族の苦痛軽減・療養生活向上

4.　分野別の施策および目標
（1）がん医療
①放射線療法及び化学療法の推進並びに医療従事者の育成
②緩和ケア
③在宅医療
④診療ガイドラインの作成
（2）医療機関の整備等
（3）がん医療に関する相談支援及び情報提供
（4）がん登録
（5）がん予防
①喫煙
②食生活
③持続感染（ウィルス、細菌など）
（6）がんの早期発見
（7）がん研究

5. 計画の推進